

有限会社岡山メタル鋼業

非鉄用チップソー再研磨の生産性50%以上向上を目指した多用途チップソー研磨機導入

岡山メタル鋼業は鉄鋼用、非鉄用の丸鋸のチップソーの再研磨を手がける。近年、非鉄用の再研磨需要の増加と高精度の研磨要求が高まっている。熟練技術者が欠かせない中、最新設備により、自動化と、リードタイムを50%削減した。作業時間短縮により、新たな顧客開拓に挑む。

会社概況

高い研磨精度と短納期を強み

岡山メタル鋼業は1985年、岡山県内では先駆けとなる鉄鋼用丸鋸刃の再研磨専門業者として設立した。主にステンレスを含む鉄鋼用、非鉄用と言われるアルミニウムや石膏・木工など、切断丸鋸（チップソー・メタルソー）の再研磨と刃付けを行っている。自動車産業、住宅産業、建材産業などで、素材（原材料）を、適切なサイズに切断する際に使用される丸鋸刃を再研磨し、新品時と同等の品質にして納品している。特にベテラン技術者の手作業と最先端の機械を取り入れた高い研磨精度と短納期を強みとする。また、顧客の要望に合わせた製品の販売も行っている。

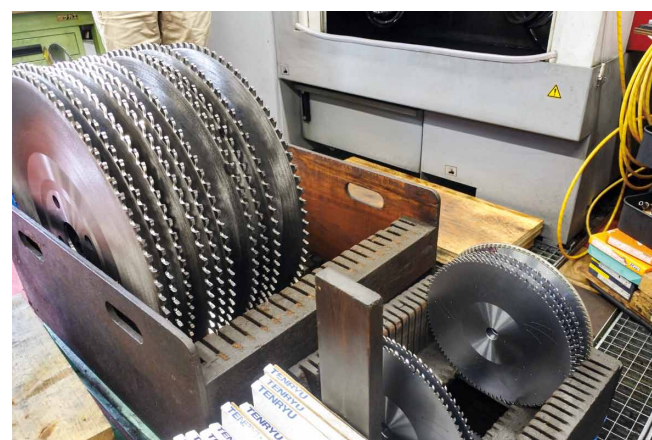


丸鋸を手にするオリジナルキャラが出迎える岡山メタル鋼業本社・工場

事業内容

非鉄用再研磨は新製品購入と比べ、30%以上のコスト削減

チップソーは切断刃物で、土台となる部分にチップ刃が取り付けられており、専用の切断機で回転させることにより鋼材や木材を切断する。すくい面の角度が切屑の大きさや流れる方向を決め、逃げ面は工具と工作物が干渉しないために重要な役割を果たしています。角度を誤ると切断数が激減することや高い精度を求めるため、研磨工程には時間がかかり、熟練技術者の存在と最先端設備での再研磨が必要不可欠となっている。特に非鉄用チップソーは大型公共事業や都市再開発計画の影響から顧客から高度化した再研磨要望が強まっている。再研磨は新製品購入と比べ、30%以上のコスト削減が見込める。



チップ刃が取り付けられている丸鋸（再研磨前）

事業成果

最新設備で生産性を50%向上

非鉄用チップソーの顧客要求として高い研磨精度がある。すくい面と先端の研磨が別工程になっていることや砥石の調整が必要なため、熟練技術者の技能に依存する必要があった。鉄用チップソー研磨機として稼働実績のあるドイツのフォルマー製のチップソー研磨機を導入し、非鉄用の生産性向上を果たす。すくい研磨用砥石と先端研磨用砥石を同時に装着でき、すくい面と先端研磨を自動で行えるため作業時間が短縮した。砥石のセット作業が自動化されたため、作業の熟練度や経験などに依存せずに高精度の加工を実現。さらに既存設備で1枚当たり50分を、最新設備では1枚当たり25分で再研磨が行え、生産性を向上させた。



リードタイムを半減した非鉄用チップソー再研磨機で作業

ワンポイント

事業承継。
新規顧客開拓へ

非鉄用チップソーの再研磨需要が高まる一方、中国地方における専門業者では事業承継などが課題とされる。岡山メタル鋼業はご子息の小林史明専務が、事業を引き継ぐ。最新設備導入に伴い、生産性を向上させることで得た時間を利用し、非鉄用チップソー市場の木工分野、アルミ加工分野、銅合金分野をターゲットに新規顧客開拓と受注拡大を目指す。



取締役専務
こばやし ふみ あき
小林 史明さん

会社概要 company profile

創業 1985年
資本金 1000万円
代表取締役 小林 正一郎
社員数 9人
売上高 1億2500万円(2025年9月期)

所在地 岡山市北区玉柏343の2
TEL 086-229-2182
FAX 086-229-2706
URL <http://noco83.jp/publics/index/2/>